



デジタル田園都市国家構想

DIGIDEN

＼デジタル技術の活用とデジタル田園都市国家構想に係る  
取組の推進を目指して／

# 大船渡市デジタル創生研究 プロジェクト・チーム 成果発表会

11/24(金) 10:00～ @地階大会議室



# 次 第

- 1 開 会
- 2 概要説明
- 3 成果発表
  - (1) Sustainability班
  - (2) Well-being班
  - (3) Innovation班
- 4 懇談～デジタル推進アドバイザー・市長コメント
- 5 その他
- 6 閉 会

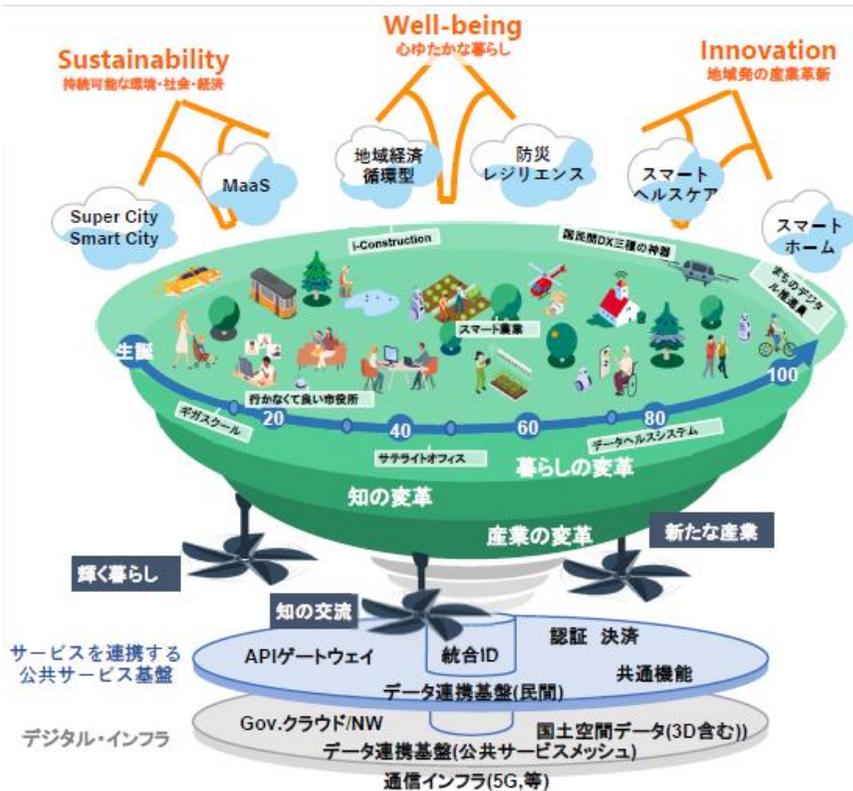
# 大船渡市デジタル創生研究プロジェクト・チームの設置

## ▶目的

- ・地域課題の解決に向けたデジタル技術の活用及びデジ田に係る取組の推進に寄与するため、令和4年度、「大船渡市デジタル創生研究プロジェクト・チーム（※）」（以下「PT」という。）を設置。
- ・令和5年度においても、引き続き設置。

※デジタル×地方創生を略した造語で、デジタルの力を活用した地方創生に取り組む意図を明確化。

## 〔デジ田の取組イメージ（デジタル庁）〕



## 〔デジ田に係る当市の取組の概要〕

### 勉強会の開催

- ・外部講師による職員向け、事業者向けの**デジ田の研修**
- ・先進事例から学ぶ**特定テーマの勉強会**
- ・**活用例（採択事業）**の勉強会

### デジタルネイティブ世代の活用

- ・係長・主任・主事級職員を中心とした**研究プロジェクト・チーム**の立ち上げ
- 庁内職員22人で構成**
- ※事務局：企画調整課

### 外部人材の活用

- ・連携協定企業や大学の協力・助言
- ・総務省地域情報化アドバイザーや、県ICTアドバイザーによる助言
- ・**大船渡市デジタル推進アドバイザー**の設置

# PTの活動内容等

## ▷具体的な活動内容

- ・大船渡市デジタル推進アドバイザーの協力を得ながら、デジタル技術を活用した先進的な事例の研究、当市の課題の掘り下げ、課題解決のためのアイデア出しを通じ、おおふなと版デジ田活用モデルを検討。

## ■PT会議

	日程			日程	
第1回	4/21	済		第5回	8/18 (金) 済
第2回	5/26	済		第6回	9/29 (金) 済
第3回	6/19	済		第7回	10/20 (金) 済
第4回	7/21	済		成果発表会	11/24 (金)

## ■PT会議以外の取組等

日程	内容	日程	内容
4/27	Chat GPT活用説明会	10/12.13	先進地視察(戸田市ほか)
5/24	Chat GPT活用セミナー	10/25	商工会議所青年部との意見交換会
8/28.29	先進地視察(角田市ほか)	11/13.14	先進地視察(浜松市ほか)
9/1	生成AI活用セミナー		

# PTでチャレンジしていること！

- ・ コミュニケーションツール・slackを活用した、**リアル会議前の情報交換**や、**先進自治体の情報収集**のほか、**外部との意見交換等**を行いながら、**デジタル推進アドバイザーの助言**も受け、**研究にチャレンジ中**。

➔DとX、二方向で取組を推進！

## 将来の提言にもつなげる 商議所青年部が「海来（みらい）会議」 市職員と初の意見交換会（別写真あり）



▲ 大船渡商工会議所青年部のメンバーと市職員が、デジタルを活用した地域振興などに関して意見交換

大船渡商工会議所青年部（米谷直会長、大船渡Y E G）は25日、大船渡町のまるしちザ・プレイスで「海来会議」を初開催した。大船渡市役所のデジタル創生研究プロジェクト・チームのメンバーらと会員が懇談し、DX（デジタル・トランスフォーメーション=デジタル技術を活用した業務・組織・風土の改革）をどう生かせば、市の商業、観光、教育、市役所窓口業務をより良いものにしていくかについて意見交換した。大船渡Y E Gは今後毎年1回程度同様の会議を開催することで、市に対する政策提言や官民協働の土台づくりをしていきたい考えだ。（鈴木英里）

▲商工会議所青年部との意見交換(R5.10.25,東海新報)

▶ Slack  
※上はデジタル庁運営、下はデジタル推進アドバイザー+PTメン  
バーで運用



# 「我々は**何**を目指すのか？」

誰も経験したことがない人口減少・少子高齢化の進行

将来の大船渡市に大きな**危機感**

～**持続可能な (Sustainability) 行政経営**への転換～

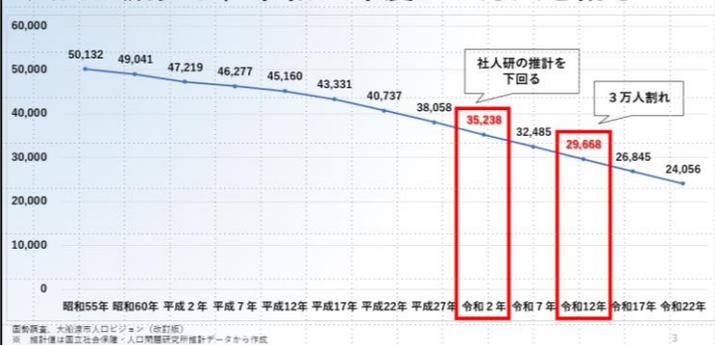
裕福さを求める社会から**幸福**を目指す社会への転換と対応

～**well-being** (心ゆたかな暮らし) の向上～

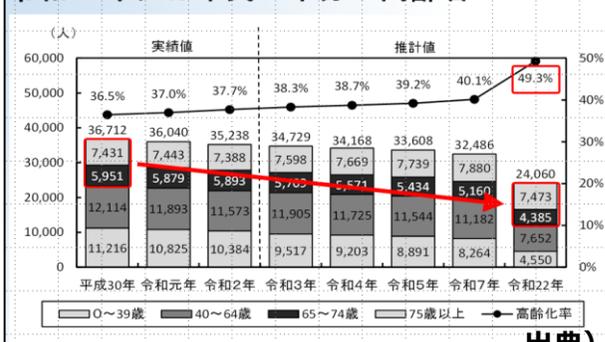
**デジタル**の力で市民・事業者・市役所の**幸福度** 

～課題解決と魅力向上の取組を加速化～

人口は減少し、令和12年度に3万人を割る



令和22年には市民の半分が高齢者



今は令和だ脱昭和



- ・ 令和4年度、**全てのグループ**（Well-being班、Sustainability班、Innovation班）が次の**二つの窓口改革（案）**を提案。

## 窓口改革（案）

- I **書かない × ワンストップ**窓口の実現
- II **行かない**窓口の実現



令和5年度は、〔**II 行かない窓口**〕に加え、**生成AIの活用、公式LINEの機能拡充、日直改革**を研究！



# おおふなと版窓口改革(DX)で目指すところ！

※庁議資料 一部改 (11月13日開催)

## ■目指すところ！

- ・ 窓口改革 (DX) は、当市行政DXの**リーディングプロジェクト**として位置付け。**関係課が多岐にわたり、トランスフォーメーションの波及効果が広範囲に！**
- ・ これにより、行政改革を始め、行政評価や事務事業等の見直しなど、**行政DXの推進力**として全庁展開し、**地域全体のDX推進**も見据えて取り組み。
- ➔ **D(デジタル)**導入の目的化ではなく、**X(トランスフォーメーション)**の展開による「**人口減少下における持続可能な行政経営の確立**」への寄与
- ➔ アップデートを繰り返し、体質改善による**行政経営の強化・安定化**へ！

### 行政DXにより…

- ・ **余力時間**を作り出し、**本来行政が行うべき業務**に充てる！
- ➔ 生み出される新たな価値：**デジタル化による生産性の向上**
- ➔ 創出されたリソースは、**相談業務や企画立案、“稼ぐ”施策**など、**付加価値を高める取組**に投資
- ➔ 縮小社会に見合った**職員数**を前提とした運営

▼令和4年度のPT会議で提案・紹介のあったキャッチフレーズ

**行くぜDX**

し D そ  
しよ X そう  
う。 うだ、

～DXは旅と呼ぶのにふさわしい～  
(ジャーニー)

**業務改革はドラマだ！**

続けることで「DX」となる

(北海道北見市)

**DXが止まらない**

(静岡県浜松市)



DXにほえろ!  
DXでやろうぜ!



## 成果発表会の流れ

- ①各班の発表は**20分程度**で、発表順などは次のとおり。
  - ・ Sustainability班／公式LINEの機能拡充
  - ・ Well-being班／行かない窓口、日直改革
  - ・ Innovation班／生成AIの活用
- ②各班の発表後、**質疑応答**（5分前後）。
- ③磯崎・デジタル推進アドバイザーには、各班の発表が終わった都度、コメントをいただく。
- ④三つの班の発表終了後、懇談へ移行します。
- ⑤まとめとして、磯崎・デジタル推進アドバイザー、市長からコメントをいただく。